

授業科目 言語聴覚障害概論Ⅰ

【担当教員名】 湧井 豊、 渋谷直樹、 今村 徹、 相場恵美	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>

言語聴覚障害には多くの種類があり、原因も症状もさまざまである。本講義では多様な種類の障害について概観し、専門課程における各論学習のための導入として必要な基礎的知識を学ぶことを目的とする。

<学習目標>

1. 言語聴覚障害の定義と種類を理解する。
言語聴覚障害学の発展の歴史と現状を知る。
2. 言語聴覚士の仕事と職場の多様性を理解する。
言語聴覚士法成立までの経緯を知り、身分法としての内容を理解する。
3. 生命医学と臨床の場面における言語聴覚士の義務と職業倫理を理解する。
4. 成人の言語障害と関連領域の枠組みを理解する。
5. 神経心理学、高次機能障害学の枠組みを理解する。
6. 言語聴覚障害研究の方法論を知る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	言語聴覚障害とは：定義と種類 言語障害学の歴史		講義（湧井）
2 3	言語聴覚士の仕事と職場 言語聴覚士法の内容と成立過程 生命医学と臨床の倫理		講義（渋谷、今村）
4	成人の言語障害と関連領域		講義（渋谷）
5	脳梁離断症候群：大脳高次機能障害のショーケースとして		講義・VTR（今村）
6	言語聴覚障害研究法		講義（相場）
7	補講		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内紀子編著	建帛社	2001年 2400円
	言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子編著	建帛社	2001年 2400円
	言語聴覚療法臨床マニュアル	日本言語療法士協会編	共同医書	1995年 9500円
	脳からみた心	山鳥重	日本放送出版協会	1985年 970円
その他の資料				

【評価方法】 出席およびレポート、定期試験等により総合的に評価する。	【履修上の留意点】 言語聴覚障害概論Ⅰに引き続き開講するが、授業主題の順序と担当教員は変更されることがある。
---------------------------------------	---